

# 授業科目 保健体育科教育法Ⅱ

【担当教員名】 杉崎 弘周	対象学年	3	対象学科	スポ	
	開講時期	前期	必修選択	選択	
	単位数	2	時間数	30	
【ディプロマポリシーとの関連性】					
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現	
◎			○	◎	
【概要・一般目標：G10】 中学校・高等学校における保健体育の「保健」の授業づくりとその実践ができる力量の形成を図ることをねらいとし、保健の授業づくりの基礎・基本と教授技術、さらに学習指導案の作成や授業研究について学ぶ。					
【学習目標・行動目標：SBO】					
<ol style="list-style-type: none"> <li>保健科教育の意義と目的について説明することができる。</li> <li>保健の教育内容の概略と構成を説明することができる。</li> <li>保健の計画、学習指導、評価について説明することができる。</li> <li>保健の学習指導案を作成することができる。</li> <li>保健の授業研究の方法を説明することができる。</li> </ol>					
回数	授業計画・学習の主題			SBO番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	保健科教育の意義と目的			1	講義
2	学習指導要領における保健の変遷			1	講義
3	保健の内容と系統性			2	講義
4	保健の教材と教科書			2	講義
5	保健授業における教師の教授技術			3	講義
6	保健の学習指導と評価			3	講義
7	保健の指導計画とその作成方法			3	講義
8	間接的な保健学習の進め方			3	講義
9	保健の学習指導案とその作成方法			4	講義
10	保健の指導案の作成と授業づくり 中学校（1）			4	講義・演習
11	保健の指導案の作成と授業づくり 中学校（2）			4	講義・演習
12	保健の指導案の作成と授業づくり 高等学校（1）			4	講義・演習
13	保健の指導案の作成と授業づくり 高等学校（2）			4	講義・演習
14	保健の授業研究（1）			5	講義
15	保健の授業研究（2）			5	講義
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)					
参考書					
その他の資料					
【評価方法】 出席状況、課題への取り組み・試験によって総合的に行います。		【履修上の留意点】 履修登録の際には注意してください。この授業は、対象を教員免許取得希望者および教育実習履修予定者と想定した専門的・実践的な内容です。 教職課程履修者は必ず登録・履修してください。この授業科目の単位が未修得の場合は次年度に教育実習へ行くことができません（学生便覧・履修の手引き「教育実習の履修に関する注意事項」を参照のこと）。			